

# 令和7年度 生徒指導年間計画

流山市立鰯ヶ崎小学校  
生徒指導部

## 1. 生徒指導の意義

生徒指導とは、一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことである。すなわち、生徒指導は、すべての児童生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活がすべての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることをめざしている。生徒指導は学校の教育目標を達成するうえで重要な機能を果たすものであり、学習指導と並んで学校教育において重要な意義を持つものと言える。

文部科学省「生徒指導提要 生徒指導の意義と原理」より抜粋

## 2. 学校教育目標

自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成の育成

## 3. 学校教育目標生徒指導の目標

上記の本校の学校目標を踏まえて、次の目標を設定した。

- ①特別支援教育の視点に立った教育相談・カウンセリングの充実により、不適応行動の未然防止に努める。
- ②いじめの早期発見・早期対応に努める。いじめは許さない姿勢を徹底し、保護者と連携する。
- ③生徒指導部会を充実させ積極的な生徒指導により、児童が自分の良さを自覚できるようにする。

## 4. 生徒指導目標を達成するための手立て

- ① 積極的な生徒指導の推進
  - (ア) 自己存在感を与える。
  - (イ) 自己決定の場を与える。
  - (ウ) 子どもの内面理解に努めつつ、現実原則の指導に努める。
  - (エ) 粘り強く指導する。
  - (オ) 全職員間で情報交換を密にする。
  - (カ) 共感的な人間関係を育成する。
- ② 開発的、予防的教育活動の充実
  - (ア) ふれあいのある学年、学級経営
  - (イ) 日常生活での人間関係作り
  - (ウ) 養護教諭や専科教諭との連携
  - (エ) 全職員が教育相談活動の主体であるという意識
- ③ 長欠児童対策の充実
  - (ア) 生徒指導部会（教育相談を含む）の活動
  - (イ) 教育相談の重視
  - (ウ) 保護者への積極的な働きかけ
  - (エ) 長欠傾向にある児童への予防的働きかけ
- ④ 学習指導の充実を図り、自己実現を目指すよう援助する。
  - (ア) ユニバーサルデザイン授業の工夫

(イ) 個別最適な学び・課題解決型学習・協働学習の工夫

(ウ) 個に応じた個別指導（特別支援を含む）の工夫

※学習指導の重点：

一人一人の児童が意欲的に取り組み、自らの学び方の改善と向上を図るように指導・援助すること。

⑤ 安全指導の充実（※学校安全との連携を図っていく。）

(ア) 登下校指導

(イ) 交通安全教室の指導

(ウ) 避難訓練・集団下校訓練の指導

(エ) 日常生活における安全指導

(オ) 保健学習による安全指導

⑥ 清掃指導の充実（※清掃指導の計画による。）

5. 生徒指導上の留意点

① 積極的な生徒指導を推進するために

(ア) 学校生活において、一人一人に活躍の場を与え、お互いに良さや可能性を認め合えるような雰囲気作りをする。

(イ) 自分たちで決定したことに責任を持たせ、自治的な集団活動を推進する。

(ウ) 子どもと積極的にふれあい、児童理解に努める。

(エ) 基本的な生活習慣、約束事の遵守、契約履行の常識を持つことなどの社会性が身につくように援助していく。そのために、教師間では、「鱈小の子を育てる」という共通の意識を持ち、継続的に取り組む。

(オ) 学年間、学級間、養護教諭、担任外教員との情報交換を密にする。

(カ) 問題行動については、根本原因まで立ち返って指導法を考え、根気強く指導する。

(キ) 学年間において、生徒指導に関する話し合いの時間を確保する。

(ク) 該当学年の担任だけに任せるのではなく、共通理解のもとに全職員で取り組む。

(ケ) 生徒指導上の問題については、各学年が集まる生徒指導部会で共有し、生徒指導主任から管理職に報告をする。（報告・連絡・相談）

② 開発的、予防的教育活動を充実するために

(ア) 教育相談を折に触れて行い、児童理解に努め、いじめや問題行動の早期発見に寄与できるようにする。

(イ) 早急に直そうと焦らず、じっくり時間をかけて、児童が納得できる指導に努める。

(ウ) 子どもの感情を理解しつつも、指導すべきことはしっかり指導する。

(エ) 同じことを何度も繰り返す子どもの心理を理解する。

(オ) 生徒指導上の問題に直面したときの自分の心理状態を把握して、教師自身の自己理解を進める。

③ 長欠児童対策を充実するために

(ア) 養護教諭との連携を密にして、個別に教育相談を行う。

(イ) 長欠の原因を探るとともに、保護者に対しても積極的な働きかけを促す。

(ウ) 担任教師と該当児童とのつながりは、何らかの形で継続させる。

(エ) 学校として何ができるのか、教育相談・長欠担当を中心に考えていく。

④ 学習指導の充実を図り、児童一人一人の自己実現を援助するために

(ア) 学習の遅れやつまづきを持った児童に関する指導のみではなく、全ての児童を対象にして、自ら学ぶ意欲的な学習態度、学習姿勢作りに目を向ける。

(イ) 児童の生活上の問題点を把握して、適切に指導する。

(ウ) 授業の中に生徒指導の機能を取り入れ、学習指導の充実を図る。

(エ) 一人一人の児童に存在感を持たせると共に、学習意欲を高める人間関係を育てる。

- 教材や学習活動に関わる児童の理解を深める。
- 学習の仕方や習得の仕方、態度を身につけさせる。
- 課題意識を育て、自力で解決する機会を設定する。
- つまづきや障害に対する援助や指導をする。
- 努力に対する評価と賞賛を与える。

⑤ 安全指導の充実のために（※学校安全との連携を図る。）

- (ア) 登校指導では、安全な歩行を促すために積極的に声をかける。また、危険個所を把握しておく。
- (イ) 発達段階に応じて、教えるべきことと考えさせるべきことを区別して、指導に当たる。
- (ウ) 避難訓練では、実際に被害に直面したという意識のもとで真剣に行う。
- (エ) 安全指導にやりすぎはない、という考えで、同じことでも継続して指導する。
- (オ) 各機関から得た情報は、できる限り保護者に提供する。

⑥ 清掃指導の充実のために

※清掃指導計画による。

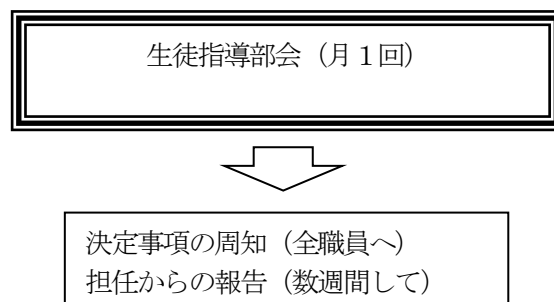
⑦ その他

上記事項を推進していくために、問題が起きてから慌てるのではなく、問題が起きないように望ましい人間関係を日々の生活の中で推進する。そのためには、児童・教職員共に日頃から自己理解、自己受容、他者理解、他者受容ができるように援助努力することが大切になる。

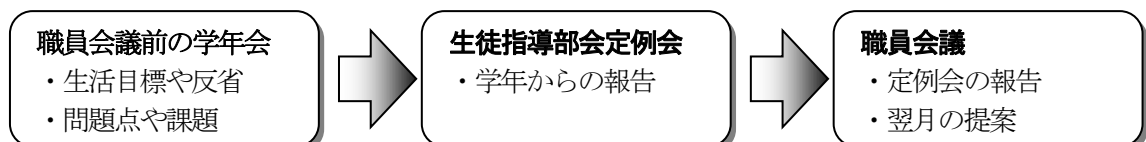
## 6. 生徒指導の組織及び運営

① 生徒指導部会

原則として、校長、教頭、主幹、特別支援コーディネーター、生徒指導主任、各学年生徒指導担当、教育相談・長欠担当、養護教諭で構成する。月に1回の定例会を開き、生徒指導目標達成のための対策や生徒指導上の問題点（教育相談を含む）、支援を要している児童の理解と、一人一人に適した指導及び支援の仕方について情報を共有し、各学年の方策・反省・問題点を集約してその解決に取り組む。また、積極的な生徒指導、開発的・予防的教育相談の方策について検討する。



(ア) 取り組みの流れ



② いじめアンケート … 年2回（6月、11月）に実施する。

(ア) 内容

- 学校生活上での悩みや困っていることはないか。先生に知らせておきたいことはないか。

(イ) 実施方法

- 各学年の発達段階や実態に応じてアンケートを作成する。

- アンケートの集計は、担任が行い、事後指導についても担任が行う。
- 必要に応じて、教育相談担当に伝え対応を協議する。
- アンケートで得た情報は、保護者にも報告をする。

## 7. 校内生徒指導の取り組み

### ① 生活目標の設定

月毎に生活目標を設定し、各学級で具体的な取り組みについて話し合い実践していく。

### (2) 生徒指導年間計画

生徒指導年間計画			
学校目標：自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成			
	重点目標	生活目標（生活・清掃）	生徒指導に関わる校内活動
4月	新年度の計画づくりとルール確立	○ともだちをたくさんつくろう	○生徒指導規程の確認 登下校指導・清掃指導・児童会活動・情報モラル教育
5月	けじめのある生活態度と環境整備	○時間を大切に、けじめのある生活をしよう	あいさつ・清掃指導・交通安全・登下校指導・情報モラル教育
6月	雨天時の過ごし方 安全な生活	○廊下を静かに歩こう	○いじめアンケート（第1回） あいさつ、返事指導・生活リズム・情報モラル教育
7月	学習の充実 夏休みの計画	○進んで学習や当番活動に取り組もう	○児童と個別面談(第1回) あいさつ、返事指導・清掃指導・登下校指導・夏季休業の生徒指導・生徒指導規程の確認・1学期の反省・情報モラル教育
8月			○保護者との個別面談
9月	規則正しい生活と環境整備	○けじめのある生活をとりもどそう	○児童との個別面談(第2回) あいさつ、返事指導・登下校指導・清掃指導・情報モラル教育
10月	はきはきとした生活態度と学習の充実	○学んだことを振り返り、次に生かそう	あいさつ、返事指導・清掃指導・生活リズム・校内授業研修・情報モラル教育
11月	勤労精神の育成	○進んで運動して体をきたえよう	○いじめアンケート（第2回） ○児童との個別面談(第3回) あいさつ、返事指導・清掃指導・避難訓練・情報モラル教育
12月	人権意識の向上	○自分や友達のよさをみつけよう	○保護者との個別面談 あいさつ、返事指導・人権週間指導・冬休みの生活指導・情報モラル教育
1月	寒さに負けない丈夫な体作り	○外で元気よく遊び、体力をつけよう	登下校指導、縦割り班指導・あいさつ、返事指導・ことば使い指導・情報モラル教育

2月	学習の充実と感謝の気持ちの育成	○学校や学級の仕事に進んでとりくもう	○児童との個別面談(第4回) あいさつ、返事指導・登下校指導・不審者侵入時対応・いじめアンケート・生活リズム・情報モラル教育
3月	一年間のまとめと反省進級の気持ちの育成	○1年間を振り返り、まとめ・進級の準備をしよう	あいさつ、返事指導・1年間の活動のまとめ・学年末、学年始休業の生活指導
○年間を通して、生徒指導委員会会議を実施し、毎月の学校の様子を共通理解すると共に、翌月の学校生活について検討する。			

## 8. 校外生徒指導の取り組み

### ② 学級指導

必要に応じて、放課後や休日の生活の仕方や注意について学級担任が指導する。  
また、週末には帰りの会などを利用して必ず行うことが望ましい。

### ③ 保護者への手紙

長期休業前（夏休み、冬休み、春休み前）に、生徒指導部会による長期休業中の生徒指導の提案内容を基に、保護者宛てに休業中の生活のきまりについての手紙（しおりや学校便りなど）を作成し、周知・協力を図る。